

1. 本報告書作成について

平成 15 年度沖縄における道路事業業績計画書（以下 H15 年度業績計画書）が平成 15 年 9 月に策定・公表され、テーマの実現に向けて、成果主義に基づき沖縄における道路事業について取り組んでいます。道路行政の達成度報告書 / 業績計画書は、毎年度、指標に基づき業績の分析、評価を行い、数値目標について「達成した」、「達成しなかった」という点のみならずなぜ達成したか、しなかったか、どのような手段が有効なのか、反省すべき点はどのような点であったのかを分析し、その結果を予算編成等に適切に反映させるために作成されます。

業績計画書で示された数値目標や、それを実現するための道筋や手段の妥当性については、年度終了時に厳しく評価され、「達成度報告書」としてとりまとめられ、公表されます。ここでの評価結果は、次年度以降の予算や行政運営に反映していくことで、成果主義を徹底し、行政の意識改革につなげるものであります。また、業績計画書においては、目指す成果を県民の生活実感にあった指標を用いた数値目標として事前に公表し、その実現のための手段の妥当性を明らかにすることによって、県民と行政が課題と目標を共有することを可能とします。これにより、道路行政における成果重視の姿勢を明確にするとともに、県民と行政の信頼関係を再構築し、行政の効率性・透明性の向上を図ります。

内閣府沖縄総合事務局と沖縄県は、道路事業を行うにあたり、県民のみなさまにその内容を理解していただくため、平成 16 年 3 月に策定した「沖縄ブロックの社会資本整備重点計画」の 4 つのテーマごとにアウトカム指標（事業実施による効果を数値であらわしたもの）を用い、成果主義に基づき道路事業の峻別を行いながら進めてきました。

本資料では、平成 15 年度の道路事業実施による効果について、アウトカム指標などを中心とした指標を用いて効果を整理し、政策目標がどの程度達せられたかを把握するとともに、未達成の原因を追究し、事業投資の峻別を行い、2003/2004 沖縄における道路行政の達成度報告書 / 業績計画書を策定しています。

《成果主義の道路行政運営に関する実践のポイント》

1. 目標と達成度を公表
2. 実施した施策事業の効果分析に注力
3. 反省を改善につなげる仕組みの導入